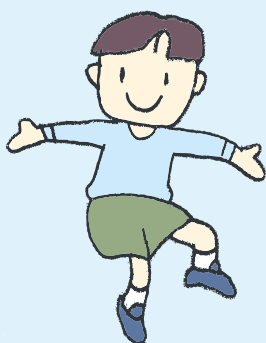


● #sendai\_kodomo ●

仙台市の子ども・子育て・子どもの権利

# 「子ども条例」は必要？ ということについて、みんなで考えよう！

仙台市民、仙台市に関わっている人…  
幅広い世代にきいてみました！



子どもの権利などに関する条例は全国にたくさんありますが仙台市にはありません。「子ども家庭庁設置法」「子ども基本法」が6月12日に国会で可決、6月22日に公布となった2022年、座談会、アンケート調査を行い、皆さんと一緒に考えてみました。より多くの方々と共有しながら考えたいと思い、冊子にしてお届けします。

## 目次

- 座談会の様子と参加者の声 ..... 2
- 仙台市民、仙台市に関わる方(市外在住)へのアンケート調査の結果と届いた声..... 4
- 子どもの権利について広めるアイディア ..... 8
- 子ども・子育てに関する条例を制定している自治体へのアンケート調査より ..... 10
- 市町村も注目したい! 県が制定する子ども条例 ..... 12

### 【子ども・子育てに関する条例の調査研究】

公益財団法人 倶進会の助成を受け、2022年4月より調査・研究を実施しました。

研究内容やこの冊子については「子ども・子育てに関する条例の調査研究室」までお問合せください。

子ども・子育てに関する条例の調査研究室 扇かおり Tel.080-5222-7558 Mail ogi-arbre@ag.wakwak.com

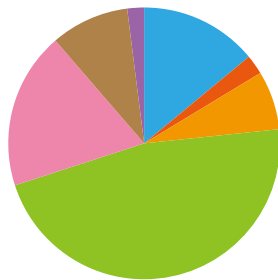
# 一 座 談 会

仙台で子どもが育つことや子どもの権利などについて考えました。  
幅広い世代が参加し、多様な意見がありました。

2022年9月～11月に、仙台市内の会場や参加者のご自宅で、合計9回実施できました。

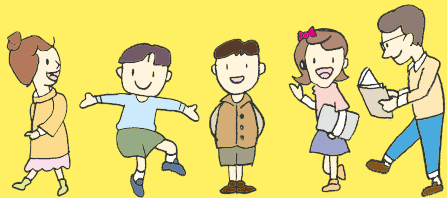
## 参 加 者

仙台市民、仙台市に関わっている方（通勤通学、活動など）、43名にご参加いただきました。「子どもの権利に興味がある」「不登校当事者なので関心を持った」「仙台市のいじめ問題が気になる」など、関心のある方が多かったです。



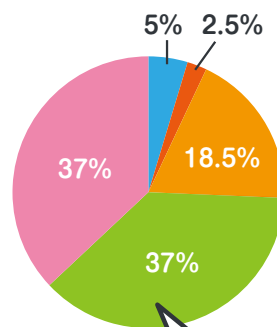
10代	6名	50代	8名
20代	1名	60代	4名
30代	3名	70代	1名
40代	20名	計	43名

### 「国連・子どもの権利条約」は 1990年にはじまりました



「生きる権利」「育つ権利」  
「守られる権利」「参加する権利」  
4大原則があると定められています。

### Q.「国連・子どもの権利条約」を 知っていましたか？



知らなかった…16名

- 1989年の第44回国連総会において採択（1990年に発効）された時から知っている
- 1994年に日本が批准した時から知っている
- 2022年、子ども家庭庁、子ども基本法可決をきっかけに知った
- 知らなかった
- その他
  - ・学校で習った
  - ・研修で学んだ
  - ・知人から聞いた
  - ・不登校のイベントで知った
  - ・子どもの不登校をきっかけに、神奈川県川崎市の夢パークを知った時から
  - ・絵本を作り発信しているイラストレーターさんがいた



## 【子どもの権利について思うこと】

- 世代関係なく権利は大事なのに、改めて考える必要があるのか?と不思議に思う(10代)
- 子どもの権利や人権が守られていると「スゴイ」と言われる社会であることが問題(10代)
- 子どもや若者も意見を主張できることを見せたい(20代)
- 子どもの権利について知る人が少ない。子どもに権利があることを知ると、不都合に感じる大人が多いのかも(40代)
- 大人の誤解があり、適切に学べていないと思う(50代)

## 【仙台市について…子育て、子育て支援、学校、不登校など】

- 学校は自分の意見が言える人は楽しいが、言えない人にとっては辛い場所だと思う(10代)
- 他都市に比べて子育て家庭へのケアが不足。特に夜間に辛い時など、困った時の行き場が無かったことが不安だった(40代)
- 医療費助成など所得制限で利用できないものが多く、暮らしにくさを感じる(40代)
- 多様な学びを確保するために、行政と協力ができたらと思うことが多々ある(40代)
- 幼児の不登園に対する支援が見当たらない(40代)
- いじめ問題に特化しすぎている(40代)
- 仙台市の度重なる事件を聞かたびに、私たち大人がすべきことは何かと考える(50代)
- 宮城県全体を見てもいろいろな面で他県より遅れていると思う(60代)

## 【仙台市について…どんなまちになると良い?】

- 押しが強くない人が多く、居心地がいい。良い面を活かしていけるまちになればいい(10代)
- 仙台市は問題を感じて活動している人がたくさんいる。力を合わせたら変化を起こせると思う(40代)
- 支援や施策はいっぱいある。必要な人に届いたり、声を上げやすくするなどの工夫があればいいと思う(50代)

### <仙台市外在住の方からの声>

- 宮城県の教育委員会と一緒に、子どもの権利について積極的に取り組んでほしい(40代)
- 仙台市の居場所に通っている。子どもの権利への理解が広がってほしい(40代)
- 子ども条例がなくても、問題がない都市になってほしい(50代)

## 【仙台市には「子ども条例」が必要?】

- 仙台市は見えない差別も多いと感じていて、子ども条例があることで指針になると思う(40代)
- 条例があることで市民の意見が伝えやすくなると思う(40代)
- 子ども自身も子どもの権利について知ったほうが良い。条例はきっかけになる(40代)

大人がのびのび過ごすと、  
子どもも明るく元気に暮らせるよね

…などという声もありました。

条例がなくても、  
みんなの権利が守られることが  
当たり前になるといいね!



座談会では「今の仙台市には子ども条例は必要」という声が多く聞かれました。世代によって着眼点の違いも見られ、世代を超えて語り合う意義も感じられました。

# — アンケート調査 —

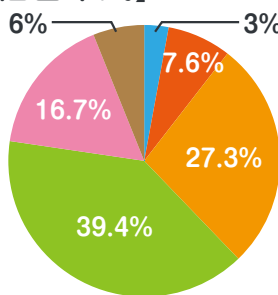
座談会参加者以外の声も広く集めたいと思い、アンケート調査も実施しました。  
30代、40代の子育て世代の方々が特に多くご回答頂きました。

2022年12月から2023年1月に、ネットでのアンケート調査を実施しました。

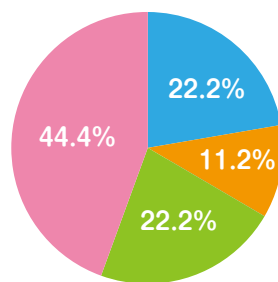
## 回答者

仙台市民、仙台市に関わっている方（通勤通学、活動など）、73名にご回答いただきました。

【仙台市民】 回答数：64



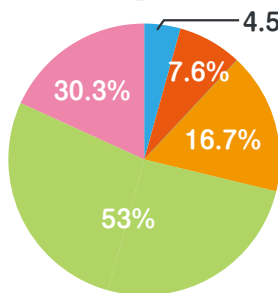
【仙台市に関わっている方(市外在住)】 回答数：9



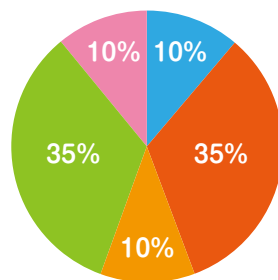
- 10代 仙台市外から通勤…………… 3名
- 20代 仙台市外から通って活動… 2名
- 30代 仙台市出身…………… 1名
- 40代 回答なし…………… 1名
- 50代
- 60代
- 70代

## Q.「国連・子どもの権利条約」を知っていましたか？

【仙台市民】 回答数：64



【仙台市に関わっている方(市外在住)】 回答数：9



- 1989年の第44回国連総会において採択(1990年に発効)された時から知っている
- 1994年に日本が批准した時から知っている
- 2022年、子ども家庭庁、子ども基本法可決をきっかけに知った
- 知らなかった
- その他

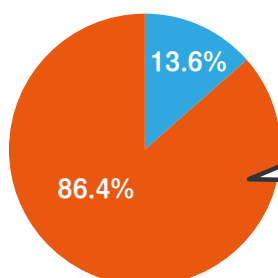
- ・ 子どもの居場所づくりをし始めて知った。
- ・ 他県の市民団体の活動で知った
- ・ 2022年より前にどなたかのSNS投稿から
- ・ 東京都で子ども基本条例が審議される時に
- ・ 仕事で学ぶ機会があった
- ・ 学校で教わった
- ・ 知人に教わった
- ・ 大学で学んだ時から
- ・ 母から教わった
- ・ 中学生の時授業で習った
- ・ 聞いたことがある
- ・ 社会福祉法人の案内の際に

## Q.仙台市に「子ども・子育てに関する条例」が無いことを知っていましたか？

【仙台市民】

回答数：64

- 知っていた
- 知らなかった



知らなかった…86.4%

## Q.仙台市について思うことがあればお聞かせください

【仙台市民】	遊び場・居場所 地域環境 (回答数：57)	学び・学校 不登校支援 (回答数：50)	子育て 子育て支援 (回答数：44)
要 望	13	7	8
アイデア・意見	6	19	19
良いと思うこと	3	1	0
課題・難点	35	23	17

※たくさんのご回答を頂いたため、分類してみました。肯定的な回答が少なく、ご意見の中には厳しいものも多くありました。

### 【Q.仙台市の遊び場・居場所・地域環境について思うこと】(↓抜粋)

- 小さい頃に楽しい遊びで体を動かすことは後の心身の健全な発達に役に立つのではないと思う。そのため、子供たちにとって広い遊び場が必要だと思う。
- 子どもが地域で自由に遊ぶことを大事にしようという意識を持っている人が少ない。

### 【Q.仙台市の学び・学校・不登校支援などについて思うこと】(↓抜粋)

- 知り合いの子が不登校。学校に子どもを合わせるのではなく、子どもに合わせた学校のしくみに変わってほしい。
- 近視眼的な判断ではなく、本質的問題をとらえてほしい。

### 【Q.仙台市の子育て・子育て支援などについて思うこと】(↓抜粋)

- 障害児が保育所の利用を希望して、園も受け入れると言っているのに、アーチルが利用を認めないのが理解できない。医療的ケア児の保育所利用が全国と比較して少なすぎる。
- 保育士や先生の待遇を良くしてもらいたい。長時間勤務が常態化して、数が少ないのでその分激務だと思う。給料の面の改善だけでなく、人数を増やして子ども一人ひとりの成長を親と一緒に支えてほしい。

## Q.子どもの権利について思うことがあればお聞かせください

【仙台市民】 回答数：39 (↓抜粋) ※知ることが必要という声が多かったです。

- わがままではなく成長するのに必要だということを、まずは親に知ってもらいたい。
- 保護者も含め、子どもの権利を知る人はいないに等しい。これをどう今の保護者に知らせるかが保育園に勤める私たちが考えなくちゃいけない課題だと感じる。
- 子どもの人権を学校の授業で教えてほしい。そして、大人も学ぶ機会が必要。人権侵害に子どもが気づいた時に、救済される仕組みも必要。
- 条約や条例が必要なのは、今の社会で子どもが犠牲になっているからだと思う。

「仙台市いじめの防止等に関する条例」は、2019年4月1日に施行されています。

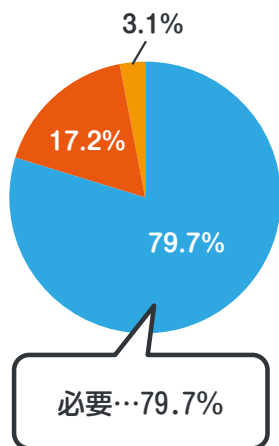
【URL】 [https://www.city.sendai.jp/kodomo-taisaku/ijimetaisakusuishin\\_jourei.html](https://www.city.sendai.jp/kodomo-taisaku/ijimetaisakusuishin_jourei.html)



## Q.仙台市には子ども・子育てに関する条例が必要だと思いますか？

### 【仙台市民】

回答数：64



■必要

■どちらとも言えない。  
分らない

■不要

- 条例があった方が良くと思うが、実際制定している都市にいる住民も知らないという人も多く、広めるための活動も合わせて考えていかなくてはと思う。
- 条例を作るまでに対話を重ねたい。全市民が共感できる条例を。
- 条例をきっかけに、学校や地域みんな考えていく必要があると思う。
- 条例があるかどうかは大切だとは思いません。条例がなくても機能するようなコミュニティになればベストだと思います。
- 子ども自身、権利主張できるように、子どもたちも、知るべき。
- 条例制定ありきでなくてもいいのかなとも思いますが、それを提言されている理由もあると思うのでもう少し勉強せねばという意味でわからないと回答しました。
- 子供の権利を守るために、母親の権利を守って欲しい。母親が守られていないのに子供は守れない。
- まず子育て支援に携わる者ならみんな当然に知ってないとおかしいと思う。市役所職員は読み込むべきだと思います。
- そもそもないことについての課題や必要性は仙台市にはあるんでしょうか？
- 市が明確にすることで、多くの市民に子どもの権利を可視化できるのではと思う。
- 市民の声で作ったという意識が大切。
- 子ども条例という存在自体が、仙台市は子供を守るべき存在として捉えてくれていると思うし、市民も意見を言いやすくなる。
- とりあえず、今のままでは良くない。何かが変わるなら、ないよりはあったほうが良い。

## Q.感じたこと、仙台市がどんなまちになったら良いかなど

【仙台市民】 回答数：34（↓抜粋） ※肯定的、期待を寄せる声が多く寄せられました。

- 子どもだけでなく、女性や弱者の人権も守れる、安心して暮らせるまちになってほしい。
- 不登校が多いのは悪いことではなく、みんなで子どもたちについて本気で考えるきっかけになっている。これから仙台は大きく変わっていくと思う。
- インクルーシブを目指してほしい。小さいときから様々な人が共に過ごす環境が続けば一人一人が互いを認めあえるのでは。
- 仙台は東北の中心。仙台の良い事例が東北へと広がるのではないかな。
- 大都市である仙台は、地方都市の希望だと思う。自然も豊かでスポーツも盛んだし、高等教育も充実している。より全国各地から人が集まり、多様な価値観を發揮できる都市になって欲しいし、していきたい。
- 中途半端なまちというひともいるが、自然も近く街場も近い過ごしやすい環境だと思っている。その地の利を生かした活動もいっぱいあり、沢山の人が関わって自分のことだけでなく他の人に目を向けてつながりを持って行けたらいいと思う。
- 民間で活動されている団体がたくさんあることに気付いた。支援を必要とする人がリーチしていける仕組みを作っていくことが大切。支援の狭間にいる人もたくさんいるのが現状。
- 改めて、先延ばししている場合ではないと思った。行政の動きだけでは足りない。子どもが子どものうちに、私たちも考えて動いていかねばならないと思う。
- 「杜の都」とも言われ、まちとみどりが物理的には近くにある仙台のまちの中で、子どもたちが十分に遊べていないのはもったいない。「子どものために作った施設」だけでなく、地域環境・自然環境を活かして遊び育つようなまちになったらいい。

# 仙台市に関わっている方(市外在住)の声

東北の中心、県庁所在地仙台。市外から多く人が訪れます。  
関わる方々からもご回答頂きました

## Q.仙台市について思うことがあればお聞かせください

【仙台市民】	遊び場・居場所 地域環境 (回答数：9)	学び・学校 不登校支援 (回答数：6)	子育て 子育て支援 (回答数：6)
要 望	0	1	1
アイデア・意見	1	1	0
良いと思うこと	0	0	0
課題・難点	8	4	5

※仙台市と同じ項目に分類してみました。肯定的な回答はありませんでした。

(↓抜粋)

- 公共の大型室内遊び場がない。
- 児童館が狭くて、窮屈。館によってカラーが違う。職員の考えが古いところもある。致し方ないが、研修しても自由さを受け入れられず、変わらない人達も。
- お店の入り口に段差があるところが多くベビーカーや車椅子だと入る前にあきらめてしまう。
- 行政や専門家が地域の中で気軽に話せる場所をつくり、都合のよいときにふらっと立ち寄れるとよい。
- 政令指定都市や学都と言う割に児童福祉に遅れを感じる。

## Q.子どもの権利について思うことがあればお聞かせください

【仙台市に関わっている方(市外在住)】 回答数：7 (↓抜粋)

- 大人の言う通りにしなくてはいけない。保育園では、昼寝。時間になれば、席につく。命令に従うことが社会通念なので、難しいのかもしれない。親の変革もなければとも感じる。
- 指導、相談できる人材がない。

## Q.仙台市外から通勤通学、仙台市に通って活動していて思うこと。 仙台市がどんなまちになったら良いかなど

【仙台市に関わっている方(市外在住)】 回答数：8 (↓抜粋)

- 不登校の多さを、オルタナティブ普及、先進都市へのチャンスと前向きに進んでほしい。
- 宮城県の情報が入りにくい。連携が必要。
- 医療ケアがある子が単独で行ける児童館や放課後デイサービスが増えて欲しい。
- 仙台、宮城は魅力的な方が大勢活動されている。大学の教員や学生と繋がり、若者の活躍を広げてほしい。
- 新しく変わるチャンス。楽しい学校を作ってほしい。

# 子どもの権利について広めるアイデア

子ども・子育てに関する条例があっても、なくても、「子どもの権利」に関する理解を広めるには？…ということについて、アンケートや他の自治体の事例から気になるものを紹介します！

## アンケート回答者のアイデア

【仙台市民】 回答数 42 / 【仙台市に関わっている方(仙台市以外の方)】 回答数 7

たくさんのアイデアをお寄せいただきました！  
抜粋して紹介しますので、リンク先の全回答もぜひご覧ください。

今の小学生はSDGsについての勉強にかなり時間を割いている様子なので、それと同様に学校教育に取り入れられればかなり浸透すると思う。

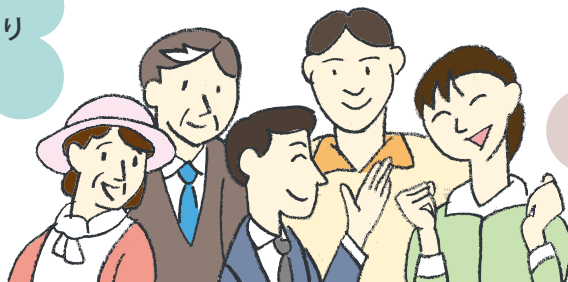
新聞やテレビ、ラジオ、YouTube、メディアを巻き込んでみんなで権利を学び考えていく企画をやる。一回きりでなく、継続的に発信できるようにコーナー化するのでもいいのではないかなと思う。良質な企画になれば、教材としても使いやすいと思う！学校、児童館、フリースクール、小児科などでも、活用できる場所はたくさんあると思う。(すでにあるのかな？あつたら活用したいです！)

子どもたちが意見を言い合ったり教え合う機会があるとよい。大学生が高校生に教え、高校生が中学生に教えるなど。大人から言われるよりも、同世代から言われることのほうが受け取りやすいと感じています。

海外で実践されているように、牛乳パックなど日用品のパッケージに子どもの権利コラムをのせる。

学校以外に子供が楽しく本気で学べる居場所を作る(学校と同じ様に卒業証書も出す)。学校以外の学校があるといい。

子ども会議いいと思います。



アンケート調査の全回答はこちらでご覧いただけます。

【URL】 <https://toto-writing.com/> 子ども・子育てに関する条例の調査研究室





## ● 子ども条例を制定している都市で見られる取り組み ●

### 【神奈川県川崎市】 子ども夢パークとフリースペースえん



「子ども夢パーク」は「川崎市子どもの権利に関する条例」を具体化するために設置された施設。子どもの権利を心でも体でも体験できるよう運営されています。

多様な学びを求める子どもたちが過ごす「フリースペースえん」もあります。

### 【青森県青森市】 青森市子ども会議



2005年より毎年30名ほどの子どもたちと子どもサポーターが参加して、子どもの権利についての啓発や青森市のPR活動などを実施しています。

2022年度は19回の会議や、「青森ねぶた祭における子どもの権利普及啓発活動」が行われました。

### 【愛知県名古屋市】 なごや人権啓発センター ソレイユプラザなごや



車いす等の体験やタッチパネルPCを使った人権学習により、人権について気づき、学ぶことができる施設。子ども向けワークショップなども随時開催しているほか、年間100校を超える校外学習も実施。子どもの権利を始めとした様々な人権について、冊子の配布や図書・DVDの閲覧・貸出も行っています。

### 名古屋市子どもの権利相談室なごもっか

「なごもっか」は、子どもの権利を守るための相談室。子どもにとっての最善の利益を、子どもと一緒に考えながら活動しています。



## ● NPOによる子どもの権利を広める取り組み ●

### NPO法人「人間の安全保障」フォーラム（事務局 東京都）



NPO法人「人間の安全保障」フォーラムは気仙沼市と包括連携協定を結び、「誰も取り残されない気仙沼・実現プロジェクト」に取り組んでいます。シンポジウム「子どもにやさしいまち・気仙沼」や「子どもの権利条約研修会」など、「子どもの尊厳に関する普及・啓発」も進めています。

# — 市町村へのアンケート調査 —

2022年6～7月に実施しました。青森市、秋田県、秋田市、遠野市、奥州市、石巻市、札幌市、新潟市、川崎市、名古屋市、浜松市、京都市にご回答頂きました。

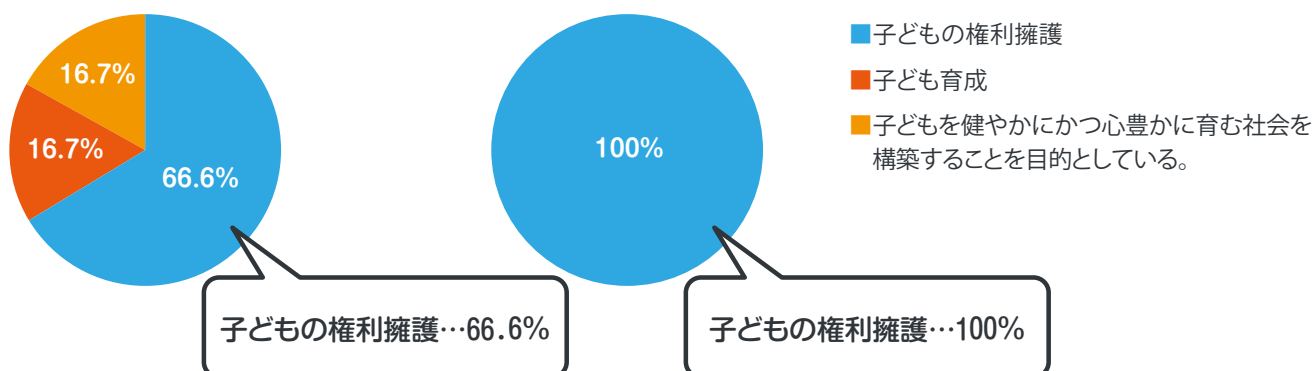
## 依頼数 / 回答数

【政令指定都市】 依頼数：9 回答数：6    【東北の市町村】 依頼数：17 回答数：5  
 【東北の県】 依頼数：4 回答数：1    ※このページでは市町村からのご回答をまとめます。

## Q.子ども・子育てに関する条例の主な目的

【政令指定都市】 回答数：6

【東北の市町村】 回答数：5



## Q.子ども・子育てに関する条例による効果

	政令指定都市			東北の市町村		
	市職員・議会・施策等	幼保、学校等職員・保護者・児童生徒	市町村民、企業、町内会等	市職員・議会・施策等	幼保、学校等職員・保護者・児童生徒	市町村民、企業、町内会等
国連子どもの権利条約の認知が進んだ	0	0	0	2	2	2
子どもの権利に対する理解が深まった	2	3	3	5	4	4
子ども・子育ての計画、プラン作成等が具体化した	2	—	—	3	—	—
子ども・子育て施策数、人員、予算などが増加した	0	—	—	1	—	—
子育て家庭との連携が進んだ	—	0	0	—	1	2
その他・不明	3	2	2	0	1	2

## 【その他】より

- 市の子ども育成に係る理念、目的、役割等について理解が深まった。
- 効果測定を目的とした調査、進捗管理を行っていない。
- 条例で定めた仕組みを具現化できている。
- 子育てを地域全体で応援する環境づくりが図られている。

## Q. 条例や子どもの権利に関連する施設や施策

- 子どもを共に育む京都市民憲章推進協議会
- 札幌市子どもの権利委員会、札幌市子どもの権利救済機関子どもアシストセンター
- 子どもの権利オンブズパーソン、川崎市子ども会議、学校における子どもの権利学習、子どもの居場所「川崎夢パーク」、子ども権利委員会 など
- 「新潟市子どもの権利推進委員会」新潟市における子どもに係る施策を、子どもの権利の保障の観点から調査、審議し、その内容を市長に答申する役割を担うために設置
- 青森市子どもの権利相談センター、青森市子ども会議（子ども委員、子ども会議サポーター）子ども権利推進委員会
- 石巻市子どもセンター「らいつ」、石巻市子どもの権利推進委員会
- 遠野市ファミリー・サポート・センター、助産院「ねっと・ゆりかご」、病児等保育施設「わらっぺホーム」、わらすっこ基金（助成事業）、わらすっこ誕生応援事業、学童保育無償化、子どもの権利教育（小学校）、わらすっこまつり、わらすっこ支援委員会（地域子ども・子育て会議）、マタニティマーク普及啓発

## Q. 新しい法律にともなう見直しについて

	政令指定都市	東北の市町村
新しい法律を視野に入れた条例施策の見直しを準備中	0	0
新しい法律を視野に入れた条例、施策の見直しを検討中	2	0
現時点(2022年6～7月)で予定なし	3	3

## Q. 条例のPRや今後の課題など

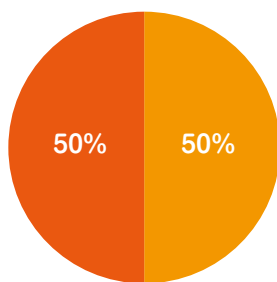
- 低年齢層の子どもに向けた普及啓発が課題。
- 子ども達へのさらなる周知が必要。
- 条例に基づき「川崎市子どもの権利に関する行動計画」を推進。本市、子どもの権利に関する条例は制定後20年を経過し、特に大人の認知度が低下傾向にある。子どもの権利保障を図るためには、大人の理解も必要なことから広報周知に工夫が必要となる。
- 子どもの権利を保障し、子どもの健やかな育ちを社会全体で支援するまちの実現を目指すことを目的として施行した「なごや子ども条例」を、子どもは権利の主体であり、子どもの権利を根幹に据えるという観点から「なごや子どもの権利条例」へと改正した。
- 新潟市子ども条例は、令和3年12月に議員提案により可決・成立し、令和4年から施行された新しい条例。今年度は、本条例の周知・啓発及び子どもの権利推進委員会の設置の他、子どもの権利推進計画の策定など、条例に基づく取組を順次進めていく。

# 市町村も注目したい！ — 県が制定する子ども条例 —

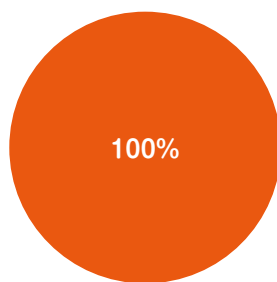
宮城県では「みやぎ子ども・子育て県民条例」を制定しています。

## Q.市町村の条例と県の条例は連携していますか？

【政令指定都市】 回答数：6



【東北の市町村】 回答数：5

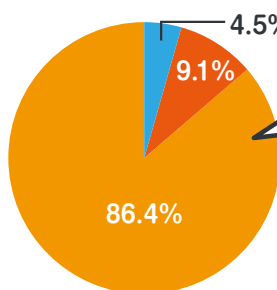


- 連携していない。それぞれ独自に制定している
- 県の子ども・子育てに関する条例は制定されていない

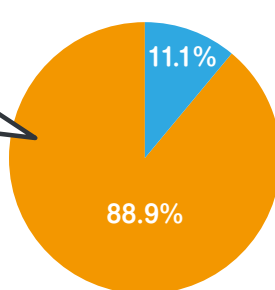
## Q.「みやぎ子ども・子育て県民条例」を知っていますか？

2015(平成27)年に制定され、これをもとに「みやぎ子ども・子育て幸福計画」が作られています。  
2022(令和4)年に改正されて「教育機会確保」についての内容が入りました。

【仙台市民】 回答数：64



【仙台市に関わっている方(市外在住)】 回答数：9



9割近い人が知らない状況

- 制定された時から知っている
- 改正の時知った
- 知らなかった

## 秋田県の条例 参考になります

### 【秋田県子ども・子育て支援条例】 2006(平成18)年～

市町村の条例と連携は無いけども、子ども・子育て支援の啓発活動を依頼できたり、子どもの権利を守る委員会を設置することが盛り込まれているなどの特徴があるようです。

- ▶ 第15条で「子ども・子育て支援月間」を8月に定めている。各市町村にのぼりを配布、掲揚を依頼。市町村と協力した啓発活動を行う。
- ▶ 第19条、第20条で「子ども・子育て支援活動計画」と「表彰」について定めている。事業者団体や子ども・子育て支援団体が計画を策定・提出でき、積極的な活動を行っているものと認められるものを公表、表彰することができる。
- ▶ 第21条で「子どもの権利擁護委員会」を設置。子どもの権利救済に関する調査を行い、子どもの権利擁護に関する重要事項を調査審議する。